

「水の帝」の商品取扱い説明

1. 金魚に使用する場合

【添加量】

- ① 初期投入量池の水量100Lに対して初回0.03%の30ccを投入
- ② 2回目投入池の水量100Lに対して翌日に2回目0.02%20ccを投入
- ③ 3回目投入池の水量100Lに対して2日後に3回目0.01%10ccを投入
- ④ ランニング投入池の水量100Lに対して3日後毎に4回目以降0.01%10ccを投入

冬眠時は池の水量100Lに対して1カ月に4回7日おきに10ccを追加投入する。

【水変え頻度】

基本は全体池の全量取り換えは禁止する。

夏場5日～7日に1回水の傷みが激しい場所でも全量の交換はせず全体の3分の1量～3分の2量のさら水を交換する。

冬場ほとんど水替えはしないでもいいが1カ月に1回～2回3分の1量の交換は可
その他の時期1カ月に2回～3回水を目安に3分の1量を交換する。

※らんちゅう武道館からのコメント

■薬品との併用は避けてください。(バイオ菌が死滅するみたいです)

■初めての液体バイオの投入は新水からスタートした方が良い感じです。

■塩の投入は新水で0.3%の塩分濃度は可能です。(古くなった水は不可)

初めてバイオを使用される方へ・・・

■病気(元気がない)や餌食いの悪い金魚は、良い状態にしてから使用してください。

■今までの飼育方法にプラス、液体バイオを投入と言う感じで行くと使いやすいです。

○保管場所は直射日光をさけた冷暗室

○保管場所温度は5℃～60℃

【応急処置】

皮膚に付着：多量の水で洗浄。そして十分にセッケン水で皮膚を洗い物質を洗い流す。

眼に入った場合：すぐに、多量の清浄な水で洗眼し、専門医の診断を受ける。

吸入した場合：吸引ガスを吐き出し、新鮮な空気のところへ移動する。気分の悪い場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：つばを出して吐き出し、飲料水を大量に飲ませる。直ちに医師の手当を受ける。